

平成21年度（平成20年度対象）

教育に関する事務の管理及び執行の状況
の点検及び評価の報告書

平成21年8月

音更町教育委員会

目 次

はじめに

1 点検及び評価の趣旨	1
2 点検及び評価の対象	1
3 点検及び評価の方法	1

点検及び評価の結果

1 教育委員会の活動状況

(1) 会議の状況	2
(2) 規則等の制定・改廃の状況	5
(3) 表彰の状況	5
(4) 研修会等への参加の状況	7
(5) 学校訪問の状況	7
(6) 町民への情報提供の状況	8
(7) 教育委員会の組織	9

2 教育行政推進における主要な施策の実施状況

文教対策	1 0
社会教育の振興	1 5
社会体育の振興	1 9

学識経験者の意見	2 2
----------------	-----

はじめに

1 点検及び評価の趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され（平成20年4月1日施行）教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出することとされました。

また、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされました。

音更町教育委員会では、これまでも各種計画に基づき効果的な教育行政を推進してきましたが、法に基づく点検及び評価を行い、その結果を公表することで、町民の皆様には教育に関する事務の管理及び執行の状況について説明するとともに、今後の施策・事業の展開等に活用し、より一層効果的な教育行政の推進を図っていきます。

2 点検及び評価の対象

平成20年度の教育委員会の活動状況のほか、平成20年度教育行政推進の方針に位置づけられて実施した施策・事業等を点検及び評価の対象としています。

3 点検及び評価の方法

教育委員会が行った点検及び評価の客観性を確保するとともに、今後の取り組みに向けた活用を図るため、教育に関し学識経験を有する方から点検及び評価に関する意見や助言をいただきました。

学識経験者 津久井 寛 氏 （帯広大谷短期大学教授）
 大 谷 宣 征 氏 （北十勝退職校長会）

点検及び評価の結果

1 教育委員会の活動状況

(1) 会議の状況

教育委員会の会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律及び音更町教育委員会会議規則に基づき、5人の教育委員会委員が教育行政に関する基本的な方針の決定や教育委員会規則の制定など、教育に関する様々な議題について審議します。

平成20年度は、次のとおり開催されました。

それぞれの会議においては、事務局から付議案件の提案理由や説明が行われた後、教育委員会委員の活発な質疑、審議を経て、いずれも決定、了承されました。

平成20年度より、教育委員会の会議の活性化と十分な審議を実施するため、各委員に議案・資料等の事前説明を行う等、審議がより活発なものとなるようにしております。

今後においても、日常的に事務局と施策・事業の実施状況等や教育の課題等についての意見交換を行い、学校訪問などの活動を充実させながら、積極的に教育行政を推進していく必要があると考えております。

期 日	付 議 案 件
20. 4.25	(報告) ・ 教育委員会事務報告 ・ 入学式の実施状況について ・ 規模別小中学校の教育効果に関する研究委託について (議案) ・ 音更町教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則案について ・ 音更町教育研究所所員の委嘱について ・ 音更町社会教育委員及び音更町公民館運営審議会委員の委嘱について ・ 音更町文化財保護審議会委員の委嘱について ・ 音更町体育指導員の委嘱について ・ 音更町図書館協議会委員及び音更町立視聴覚ライブラリー運営委員会委員の委嘱について
20. 5.30	(報告) ・ 教育委員会事務報告 (議案) ・ 音更町温水プール指定管理者の更新について ・ 音更町学校評議員の委嘱について ・ 音更町奨学資金審議会委員の委嘱について ・ 音更町青少年センター運営委員の委嘱について (協議案) ・ 平成20年度補正予算(案)について ・ 駒場小学校校舎改築、木野東小学校校舎増築、鈴蘭小学校校舎増築及び改修について ・ 教育委員の学校訪問について

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 規模別教育効果に関する調査結果について
20. 6.25	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会事務報告 ・ 平成19年度給食費の未納状況について ・ 陳情第14号 義務教育費国庫負担制度の堅持と負担率回復、教育予算の拡充を求める件 <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校職員評価制度の実施について ・ 英語指導助手の採用について ・ 音更町奨学資金支給者の決定について <p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員の学校訪問日程について
20. 7.17	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会事務報告 <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音更町いじめ問題等対策委員会委員の委嘱について ・ 勤勉手当に係る給与決定手続きの「試行」実施について
20. 8.29	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会事務報告 ・ 学校支援地域本部事業について <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音更町教員住宅管理規程の一部を改正する訓令案について ・ 平成21年度に使用する小学校用及び中学校用教科用図書の採択について ・ 音更町就学指導委員会委員の委嘱について ・ 音更町指定管理者選定委員の任命について ・ 財産の取得について
20. 9.26	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会事務報告 ・ 教職員時間外勤務手当等請求訴訟事件について <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成21年度北海道公立学校校長採用候補者の推薦について ・ 平成21年度北海道公立学校教頭昇任候補者の推薦について
20.10.17	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会事務報告 <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成20年度音更町文化奨励賞等受賞者の決定について ・ 東中音更小学校の閉校・統合について
20.11. 28	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会事務報告 <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音更町社会教育委員協議会規則の制定について ・ 音更町温水プール指定管理者の候補者の選定について

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 20 年度全国学力学習状況調査結果の分析と検証について (協議案) ・ 平成 20 年度補正予算(案)について ・ 平成 21 年度教育委員会予算について(予算編成に向けて)
20.12.24	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会事務報告 ・ 平成 20 年度いじめに関する実態報告について ・ 陳情第 17 号 義務教育費国庫負担制度の堅持と教育予算の拡充を求める件について ・ 指定管理者の指定について ・ 緑南中学校校舎耐震診断の結果について <p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 21 年度教育委員会予算編成に伴う主要事業の概要について
21. 1.23	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会事務報告 <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 21 年度全国学力・学習状況調査への参加について ・ 音更町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する規則の制定について
21. 2. 3 (臨時会)	<p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音更町立学校学区外・区域外就学許可要綱の一部を改正する要綱案について
21. 2.20	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会事務報告 ・ 平成 20 年度補正予算について <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の報告書について ・ 平成 20 年度音更町スポーツ賞等該当者の決定について ・ 教職員人事の内申について <p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 20 年度補正予算(案)について ・ 平成 21 年度教育委員会予算(案)及び主要事業について
21. 3.25	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会事務報告 ・ 卒業式の実施状況について <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音更町立学校管理規則の一部を改正する規則案について ・ 音更町教職員研修交付金交付規則を廃止する規則案について ・ 音更町立視聴覚ライブラリー設置規則を廃止する規則案について ・ 平成 21 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査への参加について ・ 教職員人事の内申について ・ 音更町教育委員会事務局職員の人事について

(2) 規則等の制定・改廃の状況

平成 20 年度に制定・改廃された教育委員会の規則・訓令及び教育関係の条例は次のとおりです。

ア 規則

題 名	公布年月日	施行年月日
・音更町教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則	20. 4.25	20. 4. 1
・音更町社会教育委員協議会規則の制定	20.11.28	20.11.28
・音更町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する規則の制定	21. 1.23	21. 1.23
・音更町立学校管理規則の一部を改正する規則	21. 3.25	21. 4. 1
・音更町教職員研修交付金交付規則を廃止する規則	21. 3.25	21. 4. 1
・音更町立視聴覚ライブラリー設置規則を廃止する規則	21. 3.25	21. 3.25

イ 訓令

題 名	公布年月日	施行年月日
・音更町教員住宅管理規程の一部を改正する訓令	20. 8.29	20. 9. 1

ウ 条例 (平成 20 年度に制定・改廃された教育委関係の条例はありませんでした。)

(3) 表彰の状況

ア 音更町文化奨励賞等

〔音更町の文化の高揚と発展に寄与した個人及び団体を表彰〕

文化奨励賞：(科学・芸術・教育等を通じ、音更町の文化の進展に著しく貢献した個人又は団体を表彰)

	氏 名(年齢)	表 彰 事 由
個人	平 田 松 征(60 歳)	園芸講師・ボランティアとして地域社会へ貢献
	長 沢 和 恵(78 歳)	民謡の指導者として本町文化の向上に寄与
団体	音更高等学校写真部	写真(学生写真道展での最高賞等、上位独占受賞)

文化奨励特別賞：(音更町の文化の振興発展に貢献し、その功績が特に顕著な個人又は団体を表彰)

	氏 名(年齢)	表 彰 事 由
団体	音更郷土史研究会	地域の生活文化の保存継承に努め、文化向上に貢献

イ 音更町スポーツ賞等

〔音更町のスポーツの分野において優秀な成績をおさめた者及びスポーツの振興に寄与した個人又は団体を表彰〕

スポーツ賞（全国・全道規模の大会で優秀な成績・記録をおさめた個人又は団体）

【個人】

氏 名	年齢	所 属	種 目
荒谷 房之介	14	駒場中学校	陸上
吉田 睦	15	共栄中学校	剣道
坂本 百代	15	共栄中学校	剣道
椎名 直美	41	音更町ソフトテニス連盟	ソフトテニス
松木 智雅	15	緑南中学校	陸上
上野 綾哉	12	鈴蘭小学校	サッカー
草野 侑己	12	柳町小学校	サッカー
佐藤 健太	12	柳町小学校	サッカー
中田 稜大	12	柳町小学校	サッカー
檉木 太貴	12	下音更小学校	サッカー
阿部 凌太郎	12	下音更小学校	サッカー
小原 憂雅	12	音更小学校	スピードスケート
橋本 孝広	54	音更カーリング協会	カーリング
羽原 悠紀	17	白樺学園高等学校	バレーボール
小原 卓朗	18	白樺学園高等学校	アイスホッケー
吉澤 昂太郎	18	白樺学園高等学校	アイスホッケー
小原 日向	16	白樺学園高等学校	アイスホッケー
北野 貴史	14	共栄中学校	バドミントン
池田 真菜	12	鈴蘭小学校	チアリーディング
池田 怜奈	10	鈴蘭小学校	チアリーディング
関口 瑠華	10	木野東小学校	チアリーディング
谷垣 彩香	15	下音更中学校	スピードスケート

【団体】（平成20年度は該当者なし。）

スポーツ奨励賞（全国・全道規模の大会で上位入賞、十勝大会で優秀な成績）

【個人】

氏 名	年齢	所 属	種 目
阿部 佳歩	17	帯広三条高等学校	剣道
村上 明弘	18	白樺学園高等学校	野球
小田桐 史弥	18	帯広大谷高等学校	サッカー

【団体】（平成20年度は該当者なし。）

スポーツ功労賞（本町におけるスポーツの普及振興に貢献のあった個人又は団体）

【個人】

氏 名	年齢	所 属	種 目
野村 正夫	73	音更町柔道連盟	柔道

(4) 研修会等への参加の状況

教育委員会では、各種研修会に参加し、他市町村教育委員会との情報交換や、研修に努めているほか、教育行政に関する調査・研究を行っています。

平成20年度は、岩見沢市教育委員会を訪問し、指導室の設置及び学校選択制度・学校評価制度等についての調査・研究を実施いたしました。

年月日	場 所	研 修 会 等
20. 7.10 ~11	札幌市	・岩見沢市教育委員会 ・第45回北海道市町村教育委員研修会
20.12. 3	幕別町	・十勝管内市町村教育委員会教育委員研修会

(5) 学校訪問の状況

教育委員会では、教育委員全員で町内全小中学校を訪問し、それぞれの学校の取り組みについて実情把握に努めています。

校長より経営の重点・懸案事項の説明及び授業参観による子どもたちの学びの様子を見学後、教育委員会と校長・教頭との意見交換により、学校運営・教育環境等様々な視点で実情と課題の把握等に努め、より良い教育環境の推進に努めております。

また、訪問時に学校給食の試食も行っております。

平成20年度は特に、学習支援員の活用状況を把握し、学習支援員の役割の重要性、今後の配置の必要性を含め、各学校における特別支援教育の実情と、課題の把握に努めました。

訪問年月日	訪 問 学 校 名
20. 7.15	豊田小学校、東土幌小学校、(学校給食)共栄中学校
20. 7.17	緑陽台小学校、鈴蘭小学校(学校給食)
20. 8.25	東土狩小学校、音更中学校(学校給食)、下音更中学校
20. 8.29	下音更小学校、柳町小学校(学校給食)
20. 9. 3	東中音更小学校、西中音更小学校(学校給食)、南中音更小学校
20.10. 7	木野東小学校、緑南中学校(学校給食)、下土幌小学校
20.10.15	駒場中学校、駒場小学校
20.10.24	昭和小学校、音更小学校(学校給食)

(各種学校行事等)

小中学校の入学式・卒業式に委員長をはじめ、各委員、教育長が出席するほか、運動会・体育祭への訪問等を行っています。

(6) 町民への情報提供の状況

教育委員会では、教育に関する制度や手続き、行事等の周知を図るために、様々な情報を提供しています。

今後においても、ホームページや町広報誌等を活用し、情報提供の方法を工夫しながら、より一層、わかりやすく、様々な情報を提供していく必要があると考えています。

ア 広報誌の活用

毎月発行している公報「おとふけ」にて教育に関する各種情報の提供に努めました。

(主な掲載情報)

- ・「生涯学習のまど」00JC オープンカレッジ等の各種講座の紹介
- ・「図書館通信」新着・おすすめ図書を紹介、図書館行事のお知らせ
- ・その他(小規模特認校の特集紹介等)

イ ホームページの活用

ホームページの管理・運営を通じて、教育委員会の活動を町民にお知らせしています。

(主な掲載情報)

- ・音更町の教育目標
- ・小中学校ホームページ
- ・学校教育関係(区域外就学、就学援助等)
- ・社会教育関係(施設の紹介 空き状況/予約、生涯学習等)
- ・図書館(蔵書検索)
- ・教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の報告書

平成20年度より社会教育委員協議会等の審議会の会議結果について、ホームページでお知らせしております。

(定例の教育委員会会議の開催案内と会議結果(要旨)については平成21年度よりホームページでお知らせしております。)

(7) 教育委員会の組織

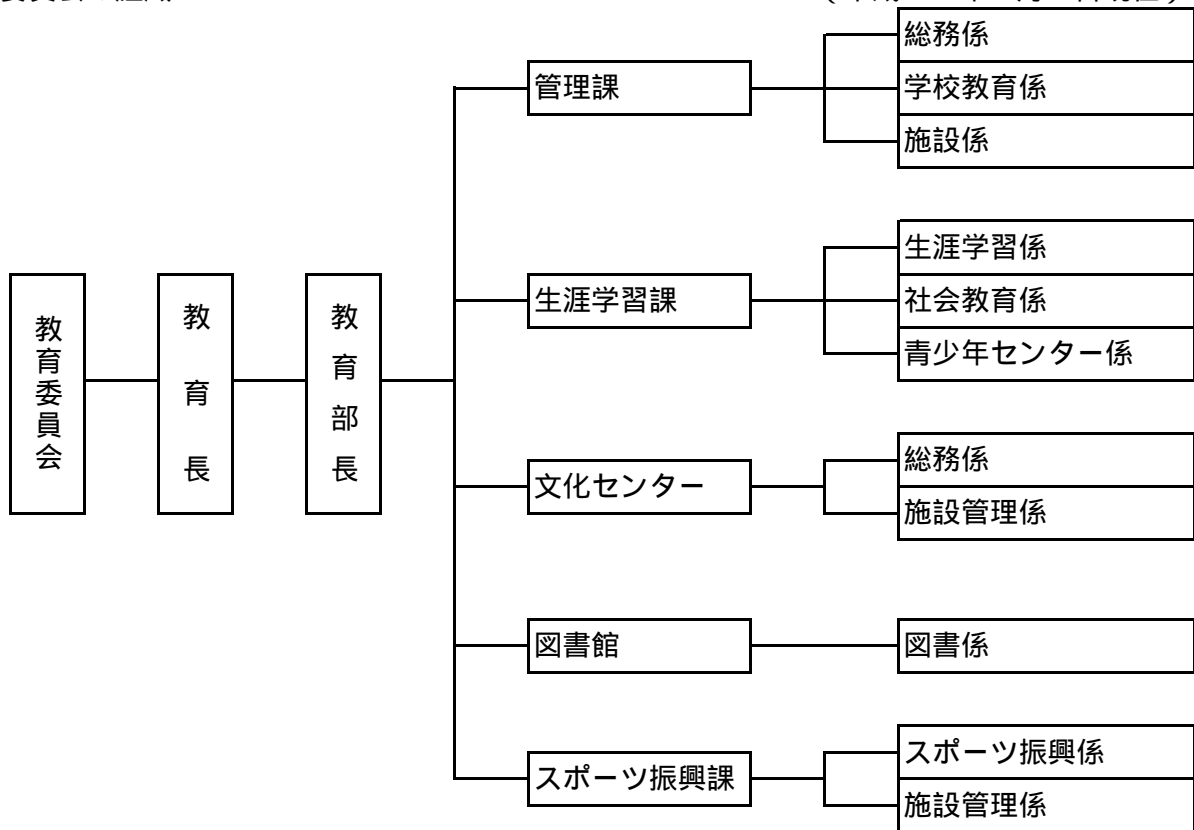
教育委員会委員

(平成21年5月1日現在)

職名	氏名	教育委員の任期	
委員長	加藤 禎一	平成19年11月5日	平成23年11月4日
委員長代理	古屋 泰江	平成12年11月2日	平成24年11月1日
委員	南出 匠	平成14年1月20日	平成22年1月19日
委員	田中 義博	平成16年11月2日	平成24年11月1日
教育長	荒町 利明	平成21年5月1日	平成23年3月31日

教育委員会の組織

(平成21年5月1日現在)



項 目	成 果		教育委員会の点検・評価												
	主要な施策														
文 教 対 策															
1. 幼稚園就園奨励	私立幼稚園就園奨励補助を次のとおり実施した。 補助対象人数 387人 補助額 28,092,500円		私立幼稚園に就園している園児の保護者の所得状況に応じて経費の一部を補助することにより、経済的負担が軽減され、もって幼児教育の振興が図られている。 補助額は年々増加傾向にあるが、文部科学省の補助事業でもあることから、今後とも継続していきたい。												
2. 教職員研修	教職員の資質の向上を図るため、次のとおり研修を行った。 対象教職員 339人 2,856,960円		教職員の素養、知識、技術向上のために学校内で行う研修と、道内研修参加者にその費用を交付した。 平成21年度は、教職員研修の更なる充実を図るべく、学校内での総意工夫した研修を奨励する「校内研修実践指定校事業」を実施することとした。												
3. 教職員健康対策	教職員の健康診断を次のとおり実施した。 受診人数 314人 延1,494人 3,262,409円 胸部X線、胃検査、血圧検査、尿検査、血液検査 心電図検査、聴力検査、身体総合検査		教職員の健康診断を帯広徳州会病院に委託し、実施した。受け入れ人数の制限があるため（1日5名程度）長期間に渡るが、長期休業期間中に多くの教職員が実施されるよう日程調整をし、今後とも実施していきたい。												
4. 教材教具の整備	小中学校の教材教具を次のとおり整備した。 (単位 円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>学 校 数</th> <th>整 備 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小 学 校</td> <td>15</td> <td>4,387,023</td> </tr> <tr> <td>中 学 校</td> <td>5</td> <td>2,055,875</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>20</td> <td>6,442,898</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	学 校 数	整 備 額	小 学 校	15	4,387,023	中 学 校	5	2,055,875	計	20	6,442,898	新設の普通学級や特別支援学級に必要な教材や、学校要望を整理した上で教材教具を整備し、教育環境の充実を図っている。 また、吹奏楽の楽器は年次計画で各中学校に整備している。今後とも計画的に教材教具を整備していく必要がある。
区 分	学 校 数	整 備 額													
小 学 校	15	4,387,023													
中 学 校	5	2,055,875													
計	20	6,442,898													
5. 総合的な学習の時間支援事業	総合的な学習の時間として、創意工夫を生かした特色ある学校づくりの推進を図った。 (単位 円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>学 校 数</th> <th>交 付 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小 学 校</td> <td>15</td> <td>1,664,000</td> </tr> <tr> <td>中 学 校</td> <td>5</td> <td>836,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>20</td> <td>2,500,000</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	学 校 数	交 付 額	小 学 校	15	1,664,000	中 学 校	5	836,000	計	20	2,500,000	総合的な学習の時間における教育活動において、創意工夫による特色ある学校づくりに資するため、小中学校にその経費を交付している。 今後とも、国際理解・情報・環境・福祉・健康教育等の総合的な教育活動の推進のために必要である。
区 分	学 校 数	交 付 額													
小 学 校	15	1,664,000													
中 学 校	5	836,000													
計	20	2,500,000													

項 目 主 要 な 施 策	成 果	教育委員会の点検・評価																											
6. 就 学 援 助	<p>就学困難な児童生徒に対し、次のとおり就学援助費を支給した。</p> <p>(単位 人、円)</p> <table border="1" data-bbox="510 309 1124 619"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>人 数</th> <th>支 給 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学 用 品 費</td> <td>862</td> <td>14,990,980</td> </tr> <tr> <td>体 育 実 技 用 具 費</td> <td>287</td> <td>3,234,490</td> </tr> <tr> <td>入 学 準 備 金</td> <td>173</td> <td>3,715,700</td> </tr> <tr> <td>修 学 旅 行 費</td> <td>191</td> <td>7,377,108</td> </tr> <tr> <td>通 学 費</td> <td>19</td> <td>398,420</td> </tr> <tr> <td>医 療 費</td> <td>499</td> <td>1,835,581</td> </tr> <tr> <td>給 食 費</td> <td>862</td> <td>36,574,914</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>887</td> <td>68,127,193</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	人 数	支 給 額	学 用 品 費	862	14,990,980	体 育 実 技 用 具 費	287	3,234,490	入 学 準 備 金	173	3,715,700	修 学 旅 行 費	191	7,377,108	通 学 費	19	398,420	医 療 費	499	1,835,581	給 食 費	862	36,574,914	計	887	68,127,193	<p>就学困難な児童生徒に対し、就学援助をすることにより、経費負担の軽減を図っている。</p> <p>年々対象者は増加傾向にあるが、今後とも保護者負担の軽減のため、継続していくことが必要である。</p>
区 分	人 数	支 給 額																											
学 用 品 費	862	14,990,980																											
体 育 実 技 用 具 費	287	3,234,490																											
入 学 準 備 金	173	3,715,700																											
修 学 旅 行 費	191	7,377,108																											
通 学 費	19	398,420																											
医 療 費	499	1,835,581																											
給 食 費	862	36,574,914																											
計	887	68,127,193																											
7. 奨 学 資 金	<p>高校在学者で家庭の経済的な理由により就学困難な者に対し、奨学資金を支給した。</p> <p>(単位 人、円)</p> <table border="1" data-bbox="510 724 1303 861"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>支給人数</th> <th>奨 学 資 金</th> <th>支 給 総 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通 年 (12 ヶ 月)</td> <td>60</td> <td>月額 6,500</td> <td>4,647,500</td> </tr> <tr> <td>冬 期 (4 ヶ 月)</td> <td></td> <td>月額 6,500</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>60</td> <td></td> <td>4,647,500</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	支給人数	奨 学 資 金	支 給 総 額	通 年 (12 ヶ 月)	60	月額 6,500	4,647,500	冬 期 (4 ヶ 月)		月額 6,500		計	60		4,647,500	<p>高校在学者であって、経済的な理由によって就学困難な高校生に奨学金を支給している。</p> <p>申請者数が増加傾向にあるため、平成21年度は支給人数を90人とし、単価も月あたり1万円を限度に引き上げることとした。</p>											
区 分	支給人数	奨 学 資 金	支 給 総 額																										
通 年 (12 ヶ 月)	60	月額 6,500	4,647,500																										
冬 期 (4 ヶ 月)		月額 6,500																											
計	60		4,647,500																										
8. 教育施設の整備	<p>教育施設の整備を次のとおり実施した。</p> <p>(単位 円)</p> <table border="1" data-bbox="510 968 1429 1436"> <thead> <tr> <th>工 事 名 等</th> <th>工 事 費 等</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>駒場小学校校舎改築主体工事 (全体金額 416,850,000)</td> <td>174,978,000</td> <td>R C 2 階 建 2,622㎡ 解体 23㎡</td> </tr> <tr> <td>駒場小学校校舎改築電気設備工事 (全体金額 87,990,000)</td> <td>19,692,000</td> <td>受変電設備、照明ｺﾝﾃﾞﾝｼﾞｬﾝ設備、 弱電設備、太陽光発電設備ほか</td> </tr> <tr> <td>駒場小学校校舎改築暖房換気設備工事 (全体金額 64,050,000)</td> <td>9,428,000</td> <td>空調設備、蓄熱暖房設備ほか</td> </tr> <tr> <td>駒場小学校校舎改築給排水衛生設備工事 (全体金額 40,845,000)</td> <td>7,487,000</td> <td>屋内外給排水設備、衛生設備ほか</td> </tr> <tr> <td>駒場小学校校舎解体工事その1</td> <td>2,079,000</td> <td>C B ｼﾞ ﾞｯｸ造平屋建 112㎡ 木造平屋建 42㎡</td> </tr> <tr> <td>鈴蘭小学校校舎増築工事</td> <td>67,361,609</td> <td>R C 2 階 建 416㎡</td> </tr> <tr> <td>鈴蘭小学校校舎増築電気設備工事</td> <td>7,245,000</td> <td>照明ｺﾝﾃﾞﾝｼﾞｬﾝ設備、弱電設備ほか</td> </tr> </tbody> </table>	工 事 名 等	工 事 費 等	内 容	駒場小学校校舎改築主体工事 (全体金額 416,850,000)	174,978,000	R C 2 階 建 2,622㎡ 解体 23㎡	駒場小学校校舎改築電気設備工事 (全体金額 87,990,000)	19,692,000	受変電設備、照明ｺﾝﾃﾞﾝｼﾞｬﾝ設備、 弱電設備、太陽光発電設備ほか	駒場小学校校舎改築暖房換気設備工事 (全体金額 64,050,000)	9,428,000	空調設備、蓄熱暖房設備ほか	駒場小学校校舎改築給排水衛生設備工事 (全体金額 40,845,000)	7,487,000	屋内外給排水設備、衛生設備ほか	駒場小学校校舎解体工事その1	2,079,000	C B ｼﾞ ﾞｯｸ造平屋建 112㎡ 木造平屋建 42㎡	鈴蘭小学校校舎増築工事	67,361,609	R C 2 階 建 416㎡	鈴蘭小学校校舎増築電気設備工事	7,245,000	照明ｺﾝﾃﾞﾝｼﾞｬﾝ設備、弱電設備ほか	<p>(学校施設の耐震化推進)</p> <p>駒場小学校校舎の改築工事に着手し、木野東小学校及び柳町小学校校舎の耐震改修工事を実施した。また、緑南中学校校舎の耐震診断を実施した。安全と安心な学校づくりのため施設の耐震化は喫緊の課題であり、情報を公開しつつ積極的かつ、早期の取り組みが必要である。</p> <p>(教室不足解消のための増築)</p> <p>児童増に対応するため木野東小学校および鈴蘭小学校校舎の増築工事を実施した。児童・生徒の推移を見極めながら施設の計画的な整備を進めることが肝要である。</p> <p>(既存施設の改修及び保全)</p> <p>老朽化した学校プールの修繕を実施した。今後も安全性と機能性を確保するため、計画的な改修と保全に努める。</p>			
工 事 名 等	工 事 費 等	内 容																											
駒場小学校校舎改築主体工事 (全体金額 416,850,000)	174,978,000	R C 2 階 建 2,622㎡ 解体 23㎡																											
駒場小学校校舎改築電気設備工事 (全体金額 87,990,000)	19,692,000	受変電設備、照明ｺﾝﾃﾞﾝｼﾞｬﾝ設備、 弱電設備、太陽光発電設備ほか																											
駒場小学校校舎改築暖房換気設備工事 (全体金額 64,050,000)	9,428,000	空調設備、蓄熱暖房設備ほか																											
駒場小学校校舎改築給排水衛生設備工事 (全体金額 40,845,000)	7,487,000	屋内外給排水設備、衛生設備ほか																											
駒場小学校校舎解体工事その1	2,079,000	C B ｼﾞ ﾞｯｸ造平屋建 112㎡ 木造平屋建 42㎡																											
鈴蘭小学校校舎増築工事	67,361,609	R C 2 階 建 416㎡																											
鈴蘭小学校校舎増築電気設備工事	7,245,000	照明ｺﾝﾃﾞﾝｼﾞｬﾝ設備、弱電設備ほか																											

項 目	成		果	教育委員会の点検・評価
	主要な施策			
	鈴蘭小学校校舎増築機械設備工事	14,700,000	屋内外給排水設備、衛生設備、暖房設備ほか	
	鈴蘭小学校職員室等改修工事	5,321,400	職員室改修	
	木野東小学校校舎増築主体工事	96,586,235	R C 3階建 742㎡	
	木野東小学校校舎増築電気設備工事	29,211,000	照明コンセント設備、弱電設備ほか	
	木野東小学校校舎増築機械設備工事	28,297,500	屋内外給排水設備、衛生設備、暖房設備ほか	
	木野東小学校給食室改修工事	21,315,000	内装、ダムウェーター、電気設備、機械設備ほか	
	柳町小学校校舎耐震改修工事	25,725,000	2F壁内ブレース 7構面 3F壁内ブレース 9構面	
	柳町小学校校舎外壁塗装工事	18,060,000	外壁塗装、網戸設置	
	柳町小学校ダムウェーター改修工事	1,385,160	ダムウェーターインバーター制御	
	緑陽台小学校水泳プール改修工事	5,775,000	水槽改修 495㎡	
	下音更小学校水泳プール上屋シート取替工事	4,588,500	上屋シート 909㎡	
	東土幌小学校プール水槽シート取替工事	2,005,500	水槽シート 306㎡	
	駒場小学校校舎改築設計委託業務	28,213,500	ボーリング調査、基本設計、実施設計、外構設計	
	鈴蘭小学校校舎増築設計委託業務	3,675,000	校舎増築実施設計	
	駒場小学校校舎改築工事監理業務 (全体金額 3,423,000)	1,020,000	工事監理・指導監督	
	鈴蘭小学校校舎改築工事監理業務	871,500	工事監理・指導監督	
	木野東小学校校舎改築工事監理業務	1,260,000	工事監理・指導監督	
	緑南中学校校舎耐震診断業務	3,465,000	鉄骨造 3,667㎡	
計	579,745,904			

項 目 主 要 な 施 策	成 果	教育委員会の点検・評価												
9. 教員住宅の整備	<p>教員住宅の整備を次のとおり実施した。</p> <p style="text-align: right;">(単位 円)</p> <table border="1" data-bbox="510 309 1429 507"> <thead> <tr> <th>工 事 名</th> <th>工 事 費</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教員住宅給湯設備工事</td> <td>2,583,000</td> <td>石油給湯器、シャワー、混合栓 5戸</td> </tr> <tr> <td>教員住宅屋根塗装工事</td> <td>1,302,000</td> <td>5戸</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,885,000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	工 事 名	工 事 費	内 容	教員住宅給湯設備工事	2,583,000	石油給湯器、シャワー、混合栓 5戸	教員住宅屋根塗装工事	1,302,000	5戸	計	3,885,000		<p>教職員の福利厚生の一環として整備されている教員住宅の改善のため、給湯器未設置の住宅にボイラーを設置したほか、傷みの激しい屋根を塗装した。今後も設置目的の達成のため、入居者の要望を把握し、入居状況を踏まえながら整備を進める必要がある。</p>
工 事 名	工 事 費	内 容												
教員住宅給湯設備工事	2,583,000	石油給湯器、シャワー、混合栓 5戸												
教員住宅屋根塗装工事	1,302,000	5戸												
計	3,885,000													
10. 開かれた学校づくり	<p>信頼される開かれた学校づくりに向けて次のとおり実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校評議員の委嘱 (小学校 63名、中学校22名) ・ 小規模特認校制度導入(昭和小学校) 	<p>信頼される開かれた学校づくりを進めるため、学校評議員制度を活用している。</p> <p>今後とも、学校評議員を活用した「学校評価」及び情報の発信に努め、学校・地域・家庭のより一層の連携協力を強めていきたい。</p> <p>また、昭和小学校の小規模特認校制度導入については平成19年度は3名の児童が通学していたが、平成20年度は2名となっている。制度のPRに今後とも努めていきたい。</p>												
11. いじめ等の対策	<p>いじめ問題等対策委員会を設置し、全小中学校にアンケート調査を実施した。</p> <p>アンケート調査をまとめた「いじめに関する実態調査」と、具体的な対応状況を整理し「いじめ指導事例集」を作成し、教職員に配付した。</p>	<p>アンケート調査を基に、いじめの実態把握に取り組んでいる。</p> <p>今後、ネット上のいじめ等についても調査していくとともに、適応指導教室や、心の教室相談員との連携を図りながら、いじめ・不登校に対して解決できるよう進めている。</p> <p>また、校内・町内体制の充実により、早期発見・早期解決に取り組んでいきたい。</p>												
12. 児童生徒の安全確保	<p>児童生徒の安全確保対策として次のとおり実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新入学児童への防犯ブザーの配付 ・ 巡視強化のための用具購入(蛍光反射腕章) ・ 全中学校にAED(自動体外式除細動器)を配置 	<p>登下校時の通学路の安全対策については、地域ぐるみで子どもを見守る取り組みが進められている。</p> <p>また、中学校5校にAEDを設置するとともに、教職員に対しての普通救命講習を実施し、操作方法等の研修を行った。</p>												

項 目 主 要 な 施 策	成 果	教育委員会の点検・評価						
13. 情 報 教 育	<p>小中学校に教育用コンピュータを整備し、児童生徒が基礎的操作の習得並びに情報化時代に対応できるような教育を実施した。</p> <p>次の学校のコンピュータ整備を実施した。</p> <p>整備校 柳町小学校、緑陽台小学校</p>	<p>コンピュータ整備については、小学校は4人に1台を、平成20年度から2人に1台で整備し、中学校は1人に1台で整備している。</p> <p>また、中学校の教員用は整備完了しているが、今後は小学校の教員用についても、年次計画で整備をしていきたい。</p>						
14. 国 際 理 解 教 育	<p>英語指導助手を配置し、中学校における生徒に対する英語の発音指導のほか、小学校における英会話の補助及び地域における国際交流活動等の活動を行っている。</p> <p>英語指導助手 1名</p>	<p>英語指導助手については、契約期間を1年間とし、更新を認めている。小中学校をはじめ、社会人の英会話教室や国際交流の集いなど幅広く活用されており、今後も継続していきたい。</p>						
15. 食 教 育	<p>生涯にわたって健康で生き生きとした生活を送ることを目指し、児童生徒に対し食品の品質や安全性などを自らが判断できる能力の育成を図っている。</p> <p>十勝管内で唯一の自校給食は、搬送時間を要しないことから手作りの献立や暖かい料理の提供が行え、児童生徒から好評を得ている。</p>	<p>本町の学校給食は、地場産品の割合が高いが、今後とも食教育の充実を図るとともに、食品の安全・安心に継続して取り組む必要がある。</p> <p>平成20年度は、栄養士4名を栄養教諭として発令し、食教育充実に向けての体制整備を進めた。</p>						
16. 特 別 支 援 教 育	<p>特別支援学級の肢体不自由児等を対象に介護福祉士・ボランティアを派遣するとともに、新たに通常学級には、学習支援員を配置した。</p> <table border="0" data-bbox="600 1161 1205 1244"> <tr> <td>・ 介護福祉士及びボランティア</td> <td>5校</td> <td>7名</td> </tr> <tr> <td>・ 学習支援員</td> <td>7校</td> <td>10名</td> </tr> </table>	・ 介護福祉士及びボランティア	5校	7名	・ 学習支援員	7校	10名	<p>今後とも、特別支援学級での肢体不自由等の障がいがある児童生徒の学校生活を介助するため、介護福祉士やボランティア介助員の導入が必要である。</p> <p>また、通常学級における発達障害等により特別な支援を要する児童生徒に対して、学習活動や学校生活上において支援するため、平成20年度より学習支援員を導入した。</p> <p>平成21年度においても、更に要望がある小中学校が増えているため、増員して特別支援教育の充実を図っている。</p>
・ 介護福祉士及びボランティア	5校	7名						
・ 学習支援員	7校	10名						

項 目 主要な施策	成 果	教育委員会の点検・評価																						
社会教育の振興 1. 青少年教育事業	団体活動を奨励し、体験学習の充実と指導者の養成を図り、青少年の健全育成に努めた。 (単位 人) <table border="1" data-bbox="510 408 1290 831"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こども姉妹町視察研修(岩手県軽米町)</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>こども会リーダー研修会(夏・冬)</td> <td>125</td> </tr> <tr> <td>秋山ハイキング</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>こども会世話人研修会</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>文化少年団指導者会議(4団体)</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>こども体験隊</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>熟年先生講座(夏・冬)</td> <td>91</td> </tr> <tr> <td>国際交流のつどい</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>青年リーダー研修会(北部三町)</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>成人式</td> <td>349</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	参加人数	こども姉妹町視察研修(岩手県軽米町)	23	こども会リーダー研修会(夏・冬)	125	秋山ハイキング	61	こども会世話人研修会	110	文化少年団指導者会議(4団体)	29	こども体験隊	25	熟年先生講座(夏・冬)	91	国際交流のつどい	20	青年リーダー研修会(北部三町)	8	成人式	349	(こども姉妹町視察研修) 小学生の相互交流事業として定着し、相互理解が図られている。継続的姉妹町交流は本事業のみであり、今後も継続が必要である。 (各種こども会事業) 地域と共に少年の健全育成を図るものであり、地域との関係が希薄化する中、今後も継続が必要である。 (こども会世話人、文化少年団指導者会議) 各世話人・指導者の資質向上及び養成を図り、地域での青少年の健全育成を図るもので、今後も継続が必要である。 (こども体験隊、熟年先生、国際交流) 体験活動を通して豊かな情操や健全な身体の育成を図ると共にこどもの居場所を提供するものであり、今後も継続が必要である。 (青年リーダー研修会) 青年活動の指導者育成を推進すると共に他町との交流を深めるものであり、今後も継続が必要である。 (成人式) 新成人(社会人)としての意識及び認識を持ってもらう機会として、今後も継続が必要である。
事業名	参加人数																							
こども姉妹町視察研修(岩手県軽米町)	23																							
こども会リーダー研修会(夏・冬)	125																							
秋山ハイキング	61																							
こども会世話人研修会	110																							
文化少年団指導者会議(4団体)	29																							
こども体験隊	25																							
熟年先生講座(夏・冬)	91																							
国際交流のつどい	20																							
青年リーダー研修会(北部三町)	8																							
成人式	349																							
2. 青少年対策	青少年の健全育成を図るため、街頭・巡視指導・通報・相談等を行い、非行防止に努めた。 <table border="1" data-bbox="510 946 1290 1385"> <thead> <tr> <th>対策内容</th> <th>実施回数等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>街頭・巡視指導</td> <td>巡視 延 444回 延 1,107人</td> </tr> <tr> <td>通報・相談</td> <td>通報 21件 相談 2件</td> </tr> <tr> <td>有害環境の浄化活動</td> <td>随時実施</td> </tr> <tr> <td>広報活動</td> <td>広報紙発行 12回 広報車運行 随時</td> </tr> <tr> <td>研修活動</td> <td>研修会 26人</td> </tr> <tr> <td>関係機関・団体との連携</td> <td>派遣 18人 学校訪問 各3回</td> </tr> </tbody> </table>	対策内容	実施回数等	街頭・巡視指導	巡視 延 444回 延 1,107人	通報・相談	通報 21件 相談 2件	有害環境の浄化活動	随時実施	広報活動	広報紙発行 12回 広報車運行 随時	研修活動	研修会 26人	関係機関・団体との連携	派遣 18人 学校訪問 各3回	(街頭・巡視指導) 青少年センターを拠点に、各地区の指導員と連携をとりながら進めている。今後も地域との連携をさらに密接に進めていきたい。 (通報等) 主に学校を通じ青少年センターに通報があり、学校等関係機関に周知している。事件的要素の高い場合の早期対応等に今後とも努力していきたい。 (広報紙) 月1回発行し、概ね好評の意見もあるが、より多くの町民へ見てもらえる紙面づくりに努めたい。 平成21年度は、児童・生徒に向けた紙面作りにも努め、家庭・学校配布を行いたい。								
対策内容	実施回数等																							
街頭・巡視指導	巡視 延 444回 延 1,107人																							
通報・相談	通報 21件 相談 2件																							
有害環境の浄化活動	随時実施																							
広報活動	広報紙発行 12回 広報車運行 随時																							
研修活動	研修会 26人																							
関係機関・団体との連携	派遣 18人 学校訪問 各3回																							

項 目 主 要 な 施 策	成 果	教育委員会の点検・評価																		
3. 成人教育事業	<p>学習の場と機会を提供し、計画的・継続的学習を進めるとともに、団体の自主的活動の助長に努めた。</p> <p style="text-align: right;">(単位 人)</p> <table border="1" data-bbox="510 363 1317 738"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家庭教育学級(20学級)</td> <td>2,788</td> </tr> <tr> <td>幼児家庭教育学級(ママの講座)</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>女性ライフスクール</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>高齢者学級(7学級)</td> <td>671</td> </tr> <tr> <td>高齢者大学(4学年)</td> <td>53</td> </tr> <tr> <td>高齢者大学院(2学年)</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>子育てテレホンサービス</td> <td>703件</td> </tr> <tr> <td>家庭教育電話相談</td> <td>3件</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	参加人数	家庭教育学級(20学級)	2,788	幼児家庭教育学級(ママの講座)	51	女性ライフスクール	46	高齢者学級(7学級)	671	高齢者大学(4学年)	53	高齢者大学院(2学年)	23	子育てテレホンサービス	703件	家庭教育電話相談	3件	<p>(各家庭教育学級) 幼児・小中学生の保護者の子育てを支援すると共に資質の向上のため、今後も継続が必要である。 (女性ライフスクール) 生活課題の解決や資質向上、地域での役割を醸成するために、今後も必要である。 (各種高齢者教室) 社会の変化に対応した知識等の習得と健康で生き甲斐のある社会生活を支援すると共に地域のリーダーの養成及び社会参加を助長する取り組みを実施するもので、今後とも必要な事業である。 (各種子育て支援相談事業) 問題解決、情報提供に有効な事業である。</p>
事業名	参加人数																			
家庭教育学級(20学級)	2,788																			
幼児家庭教育学級(ママの講座)	51																			
女性ライフスクール	46																			
高齢者学級(7学級)	671																			
高齢者大学(4学年)	53																			
高齢者大学院(2学年)	23																			
子育てテレホンサービス	703件																			
家庭教育電話相談	3件																			
4. 公民館事業	<p>社会の変化に対応し心豊かに生きていくために、自己学習や世代間・地域間交流の促進を図った。</p> <p style="text-align: right;">(単位 人)</p> <table border="1" data-bbox="510 898 1290 994"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公民館講座(8講座)</td> <td>152</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	参加人数	公民館講座(8講座)	152	<p>実用講座、調理講座、芸術講座、趣味講座、語学講座、異文化国際理解講座など住民ニーズや時宜に対応した講座を実施し、生きがいつくりや資質の向上、また、文化的生活を支援していくもので、今後も継続が必要である。</p>														
事業名	参加人数																			
公民館講座(8講座)	152																			
5. 生涯学習事業	<p>生涯学習への認識を深めるとともに、町内高等教育機関との連携による学習機会の提供を図った。</p> <p style="text-align: right;">(単位 人)</p> <table border="1" data-bbox="510 1106 1429 1377"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>参加人数等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生涯学習フェスティバル</td> <td>3,742</td> </tr> <tr> <td>〇〇ＪＣオープンカレッジ(28講座・4事業) (音更町・帯広大谷短期大学共同生涯学習プログラム事業)</td> <td>1,093</td> </tr> <tr> <td>〇〇ＪＣオープンカレッジ小学生講座(4講座)</td> <td>71</td> </tr> <tr> <td>高校開放講座(16講座) (音更町・音更高等学校連携生涯学習プログラム事業)</td> <td>434</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	参加人数等	生涯学習フェスティバル	3,742	〇〇ＪＣオープンカレッジ(28講座・4事業) (音更町・帯広大谷短期大学共同生涯学習プログラム事業)	1,093	〇〇ＪＣオープンカレッジ小学生講座(4講座)	71	高校開放講座(16講座) (音更町・音更高等学校連携生涯学習プログラム事業)	434	<p>(生涯学習フェスティバル) 生涯学習を实践する各種団体による実行委員会形式のイベントであり、貴重な学習発表の場でもある。 (〇〇ＪＣオープンカレッジ、高校開放講座) 帯広大谷短期大学・音更高校と共同で実施する学習講座であり、高等教育機関の教育力を活用した事業である。これは、地域の教育資源活用として極めて有効な事業であり、今後も住民ニーズに対応した、継続した魅力ある事業(学習機会)を提供をすることが必要である。</p>								
事業名	参加人数等																			
生涯学習フェスティバル	3,742																			
〇〇ＪＣオープンカレッジ(28講座・4事業) (音更町・帯広大谷短期大学共同生涯学習プログラム事業)	1,093																			
〇〇ＪＣオープンカレッジ小学生講座(4講座)	71																			
高校開放講座(16講座) (音更町・音更高等学校連携生涯学習プログラム事業)	434																			

項 目 主要な施策	成 果	教育委員会の点検・評価																						
6. 文化・芸術事業	<p>芸術鑑賞や発表の機会を提供するなど豊かな心を養うとともに、芸術文化の向上に努めた。</p> <p style="text-align: right;">(単位 人)</p> <table border="1" data-bbox="510 368 1290 587"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学生のための音楽教室</td> <td>1,041</td> </tr> <tr> <td>小学生のための音楽教室</td> <td>1,631</td> </tr> <tr> <td>文化祭</td> <td>5,010</td> </tr> <tr> <td>芸術鑑賞事業(事業協会との連携事業)13事業</td> <td>6,228</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	参加人数	中学生のための音楽教室	1,041	小学生のための音楽教室	1,631	文化祭	5,010	芸術鑑賞事業(事業協会との連携事業)13事業	6,228	<p>(中・小学生のための音楽教室) 優れたクラシック演奏やミュージカル公演に肌で触れる場の機会を提供した。今後も情操教育の一環として継続する必要がある。</p> <p>(文化祭) 芸能発表会や作品展示会を通じて人々に交流の場を広げ、地域に根ざした芸術文化活動を促進した。今後も活動を通じて人づくり・まちづくをすすめるために継続する必要がある。</p> <p>(芸術鑑賞事業) 文化事業協会と連携し、劇団四季等の舞台公演やクラシック等の音楽公演、大地展等の美術展示など各ジャンルで質の高い鑑賞事業を展開した。事業費の制約もあるが、今後も鑑賞機会の充実を目指して取り組む必要がある。</p>												
事業名	参加人数																							
中学生のための音楽教室	1,041																							
小学生のための音楽教室	1,631																							
文化祭	5,010																							
芸術鑑賞事業(事業協会との連携事業)13事業	6,228																							
7. 文化センター利用状況	<p style="text-align: right;">(単位 人)</p> <table border="1" data-bbox="510 675 1317 850"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>鑑賞会 発表会</th> <th>研修会 講演会 講習会</th> <th>サークル 活動</th> <th>講座</th> <th>その他</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>42,507</td> <td>11,471</td> <td>10,097</td> <td>1,415</td> <td>12,774</td> <td>78,264</td> </tr> </tbody> </table>	内容	鑑賞会 発表会	研修会 講演会 講習会	サークル 活動	講座	その他	計	人数	42,507	11,471	10,097	1,415	12,774	78,264	<p>鑑賞会や発表会、各種サークル活動などに幅広く利用されており、住民の身近な施設としての役割りを果たしている。前年度と比較して利用者数が減少しているが、これは舞台音響設備と照明設備の大規模な改修工事により、大・小ホールが1カ月以上使用できなかったことが要因である。今後とも施設機能を有効に活用し、現在実施している各種事業を継続・充実して取り組む必要がある。</p> <p>平成20年度には、ホールの命である舞台の音響設備と照明設備の改修を実施した。</p>								
内容	鑑賞会 発表会	研修会 講演会 講習会	サークル 活動	講座	その他	計																		
人数	42,507	11,471	10,097	1,415	12,774	78,264																		
8. 図書、視聴覚の振興	<p>(1) 図書館の利用状況</p> <p>図書の貸出状況</p> <table border="1" data-bbox="510 1018 1227 1257"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>貸出冊数</th> <th>貸出人数等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図書館</td> <td>215,486</td> <td>56,645人</td> </tr> <tr> <td>分館</td> <td>28,201</td> <td>7,635人</td> </tr> <tr> <td>団体</td> <td>40,077</td> <td>1,010件</td> </tr> <tr> <td>相互貸借</td> <td>454</td> <td>269件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>284,218</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>視聴覚教材の貸出状況</p> <p style="text-align: right;">(単位 件)</p> <table border="1" data-bbox="510 1361 1126 1436"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>貸出件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教材(ビデオ・DVD・CD)</td> <td>7,177</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	貸出冊数	貸出人数等	図書館	215,486	56,645人	分館	28,201	7,635人	団体	40,077	1,010件	相互貸借	454	269件	計	284,218		区 分	貸出件数	教材(ビデオ・DVD・CD)	7,177	<p>利用状況は前年度を上回っており順調に推移しているが、他の年代に比べ、中・高校生の利用が少ない状況にある。昨年度設置した「ティーンズコーナー」を充実するなど、中・高校生への読書普及を積極的にすすめたい。蔵書冊数の目標である町民一人当たり4冊にできるだけ早く到達できるように、計画的に図書整備を行い、利用者に新鮮な資料・情報の提供に努めたい。</p>
区 分	貸出冊数	貸出人数等																						
図書館	215,486	56,645人																						
分館	28,201	7,635人																						
団体	40,077	1,010件																						
相互貸借	454	269件																						
計	284,218																							
区 分	貸出件数																							
教材(ビデオ・DVD・CD)	7,177																							

項 目 主 要 な 施 策	成 果	教育委員会の点検・評価																																			
	<p>図書館（本館）の入館者数 105,746 人</p> <p>図書館の蔵書冊数等</p> <p style="text-align: right;">(単位 冊)</p> <table border="1" data-bbox="512 427 1355 568"> <thead> <tr> <th colspan="3">平成 20 年 度 図 書 等 受 入 数</th> <th rowspan="2">除 籍 冊 数 等</th> <th rowspan="2">蔵 書 冊 数 等</th> </tr> <tr> <th>購 入</th> <th>寄 贈 等</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,917</td> <td>2,362</td> <td>7,279</td> <td>2,616</td> <td>166,375</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 図書館事業の実施状況</p> <table border="1" data-bbox="512 662 1137 1182"> <thead> <tr> <th>事 業 名</th> <th>参加人数等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>読書感想文コンクール</td> <td>480人</td> </tr> <tr> <td>図書交換会</td> <td>176人</td> </tr> <tr> <td>子ども映画会</td> <td>126人</td> </tr> <tr> <td>エッセイ教室</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>絵本作家講演会</td> <td>120人</td> </tr> <tr> <td>絵本原画展</td> <td>1,274人</td> </tr> <tr> <td>文学講座</td> <td>22人</td> </tr> <tr> <td>工作教室</td> <td>62人</td> </tr> <tr> <td>移動文庫</td> <td>10校</td> </tr> <tr> <td>ブックスタート</td> <td>433人</td> </tr> </tbody> </table>	平成 20 年 度 図 書 等 受 入 数			除 籍 冊 数 等	蔵 書 冊 数 等	購 入	寄 贈 等	計	4,917	2,362	7,279	2,616	166,375	事 業 名	参加人数等	読書感想文コンクール	480人	図書交換会	176人	子ども映画会	126人	エッセイ教室	15人	絵本作家講演会	120人	絵本原画展	1,274人	文学講座	22人	工作教室	62人	移動文庫	10校	ブックスタート	433人	<p>平成 21 年度は、図書館が移転して 10 年の節目の年となる事から、例年の事業に加え、記念事業を企画し、さらに町民に親しまれる図書館を目指していきたい。また、帯広美術館など他の機関と連携し、相乗効果を期待できる事業を計画したい。</p>
平成 20 年 度 図 書 等 受 入 数			除 籍 冊 数 等	蔵 書 冊 数 等																																	
購 入	寄 贈 等	計																																			
4,917	2,362	7,279	2,616	166,375																																	
事 業 名	参加人数等																																				
読書感想文コンクール	480人																																				
図書交換会	176人																																				
子ども映画会	126人																																				
エッセイ教室	15人																																				
絵本作家講演会	120人																																				
絵本原画展	1,274人																																				
文学講座	22人																																				
工作教室	62人																																				
移動文庫	10校																																				
ブックスタート	433人																																				

項 目 主 要 な 施 策	成 果	教育委員会の点検・評価																																																						
社 会 体 育 の 振 興 1. 体力づくり、健康づくりの振興	<p>楽しく継続的に体力づくりを実践する態度を育て、健康の維持増進に努めた。</p> <p style="text-align: right;">(単位 人)</p> <table border="1" data-bbox="510 360 1290 1393"> <thead> <tr> <th data-bbox="510 360 1176 400">事 業 名</th> <th data-bbox="1176 360 1290 400">参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="510 400 1176 440">スポーツライフ</td> <td data-bbox="1176 400 1290 440"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="510 440 1176 480">・ 幼児たいそう教室（幼児教育）</td> <td data-bbox="1176 440 1290 480">175</td> </tr> <tr> <td data-bbox="510 480 1176 520">・ チャレンジスポーツ教室（少年教育）</td> <td data-bbox="1176 480 1290 520">16</td> </tr> <tr> <td data-bbox="510 520 1176 560">・ いきいき女性軽スポーツ教室（成人教育）</td> <td data-bbox="1176 520 1290 560">104</td> </tr> <tr> <td data-bbox="510 560 1176 600">・ 40歳～64歳までの軽スポーツ教室（成人教育）</td> <td data-bbox="1176 560 1290 600">45</td> </tr> <tr> <td data-bbox="510 600 1176 639">・ 高齢者スポーツ学級（成人教育）</td> <td data-bbox="1176 600 1290 639">127</td> </tr> <tr> <td data-bbox="510 639 1176 679">スポーツ教室</td> <td data-bbox="1176 639 1290 679"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="510 679 1176 719">・ こども体操教室</td> <td data-bbox="1176 679 1290 719">75</td> </tr> <tr> <td data-bbox="510 719 1176 759">・ こども空手教室</td> <td data-bbox="1176 719 1290 759">67</td> </tr> <tr> <td data-bbox="510 759 1176 799">・ ジュニアトランポリン教室</td> <td data-bbox="1176 759 1290 799">20</td> </tr> <tr> <td data-bbox="510 799 1176 839">・ 初心者スケート教室</td> <td data-bbox="1176 799 1290 839">55</td> </tr> <tr> <td data-bbox="510 839 1176 879">・ こども水泳教室</td> <td data-bbox="1176 839 1290 879">1,227</td> </tr> <tr> <td data-bbox="510 879 1176 919">・ 大人水泳教室</td> <td data-bbox="1176 879 1290 919">10,789</td> </tr> <tr> <td data-bbox="510 919 1176 959">・ 短期こども水泳教室</td> <td data-bbox="1176 919 1290 959">524</td> </tr> <tr> <td data-bbox="510 959 1176 999">・ ステップアップ水泳教室</td> <td data-bbox="1176 959 1290 999">325</td> </tr> <tr> <td data-bbox="510 999 1176 1038">・ ジュニアステップアップ水泳教室</td> <td data-bbox="1176 999 1290 1038">246</td> </tr> <tr> <td data-bbox="510 1038 1176 1078">・ 個人レッスン（大人水泳）</td> <td data-bbox="1176 1038 1290 1078">102</td> </tr> <tr> <td data-bbox="510 1078 1176 1118">体力づくり教室</td> <td data-bbox="1176 1078 1290 1118"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="510 1118 1176 1158">・ リフレッシュエアロ</td> <td data-bbox="1176 1118 1290 1158">4,920</td> </tr> <tr> <td data-bbox="510 1158 1176 1198">・ 大人のためのスタジオプログラム</td> <td data-bbox="1176 1158 1290 1198">3,841</td> </tr> <tr> <td data-bbox="510 1198 1176 1238">・ 水中運動</td> <td data-bbox="1176 1198 1290 1238">9,951</td> </tr> <tr> <td data-bbox="510 1238 1176 1278">スポーツ大会</td> <td data-bbox="1176 1238 1290 1278"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="510 1278 1176 1318">・ すずらん駅伝小学生大会兼健康マラソン大会</td> <td data-bbox="1176 1278 1290 1318">223</td> </tr> <tr> <td data-bbox="510 1318 1176 1358">・ 町民スケート大会</td> <td data-bbox="1176 1318 1290 1358">322</td> </tr> <tr> <td data-bbox="510 1358 1176 1398">・ 町民体育祭（11種目）</td> <td data-bbox="1176 1358 1290 1398">1,993</td> </tr> <tr> <td data-bbox="510 1398 1176 1437">・ 秋のスポーツ大会（11種目）</td> <td data-bbox="1176 1398 1290 1437">1,511</td> </tr> </tbody> </table>	事 業 名	参加人数	スポーツライフ		・ 幼児たいそう教室（幼児教育）	175	・ チャレンジスポーツ教室（少年教育）	16	・ いきいき女性軽スポーツ教室（成人教育）	104	・ 40歳～64歳までの軽スポーツ教室（成人教育）	45	・ 高齢者スポーツ学級（成人教育）	127	スポーツ教室		・ こども体操教室	75	・ こども空手教室	67	・ ジュニアトランポリン教室	20	・ 初心者スケート教室	55	・ こども水泳教室	1,227	・ 大人水泳教室	10,789	・ 短期こども水泳教室	524	・ ステップアップ水泳教室	325	・ ジュニアステップアップ水泳教室	246	・ 個人レッスン（大人水泳）	102	体力づくり教室		・ リフレッシュエアロ	4,920	・ 大人のためのスタジオプログラム	3,841	・ 水中運動	9,951	スポーツ大会		・ すずらん駅伝小学生大会兼健康マラソン大会	223	・ 町民スケート大会	322	・ 町民体育祭（11種目）	1,993	・ 秋のスポーツ大会（11種目）	1,511	<p>スポーツ教室、スポーツ大会の参加数は、前年とほぼ同様の数値となっている。</p> <p>温水プールでは、成人対象の水泳教室等に若干の落ち込みが見受けられるが、利用者の休憩時間の見直しで教室開催を減らしたことにより、延べ人数が減少したものであり、実人数に変動はない。平成21年度は、効率の良い施設運営を図るだけでは無く、教室種類をさらに加え、利用者サービスの向上に努めたい。</p> <p>また、体育館では、女性に人気のヨガやピラティス、太極拳などの多彩なスポーツ教室を提供するほか、新たに保健センターと連携した、栄養指導と運動の両面から健康をサポートする特定保健指導も実施していきたい。</p>
事 業 名	参加人数																																																							
スポーツライフ																																																								
・ 幼児たいそう教室（幼児教育）	175																																																							
・ チャレンジスポーツ教室（少年教育）	16																																																							
・ いきいき女性軽スポーツ教室（成人教育）	104																																																							
・ 40歳～64歳までの軽スポーツ教室（成人教育）	45																																																							
・ 高齢者スポーツ学級（成人教育）	127																																																							
スポーツ教室																																																								
・ こども体操教室	75																																																							
・ こども空手教室	67																																																							
・ ジュニアトランポリン教室	20																																																							
・ 初心者スケート教室	55																																																							
・ こども水泳教室	1,227																																																							
・ 大人水泳教室	10,789																																																							
・ 短期こども水泳教室	524																																																							
・ ステップアップ水泳教室	325																																																							
・ ジュニアステップアップ水泳教室	246																																																							
・ 個人レッスン（大人水泳）	102																																																							
体力づくり教室																																																								
・ リフレッシュエアロ	4,920																																																							
・ 大人のためのスタジオプログラム	3,841																																																							
・ 水中運動	9,951																																																							
スポーツ大会																																																								
・ すずらん駅伝小学生大会兼健康マラソン大会	223																																																							
・ 町民スケート大会	322																																																							
・ 町民体育祭（11種目）	1,993																																																							
・ 秋のスポーツ大会（11種目）	1,511																																																							

項 目 主 要 な 施 策	成 果	教育委員会の点検・評価																																										
2. 指導者、リーダーの養成	<p>スポーツ指導者及びリーダーを養成するため次のとおり実施した。</p> <p style="text-align: right;">(単位 人)</p> <table border="1" data-bbox="510 331 1292 483"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・スポーツ少年団リーダー研修会</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>・スポーツ指導者研修会</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	参加人数	・スポーツ少年団リーダー研修会	19	・スポーツ指導者研修会	24	<p>スポーツ活動の中核となるべき指導者やリーダーを養成することは極めて重要なことであることから、研鑽する場の提供を継続的に実施したい。</p>																																				
事業名	参加人数																																											
・スポーツ少年団リーダー研修会	19																																											
・スポーツ指導者研修会	24																																											
3. 奨励及び顕彰	<p>スポーツの奨励と向上を図るため次のとおり実施した。</p> <p style="text-align: right;">(単位 人)</p> <table border="1" data-bbox="510 627 1292 815"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・スポーツ大会参加補助 (全国 8件)</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>(全道 50件)</td> <td>213</td> </tr> <tr> <td>・スポーツ賞等表彰 (26個人)</td> <td>26</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	参加人数	・スポーツ大会参加補助 (全国 8件)	11	(全道 50件)	213	・スポーツ賞等表彰 (26個人)	26	<p>スポーツ大会参加補助は、優秀な成績をおさめ全道大会以上の大会へ参加するものに対して、その費用の一部を補助するものであり、スポーツ振興の観点から今後も継続が必要である。</p>																																		
事業名	参加人数																																											
・スポーツ大会参加補助 (全国 8件)	11																																											
(全道 50件)	213																																											
・スポーツ賞等表彰 (26個人)	26																																											
4. 施設の利用状況	<p>(1) 屋内体育施設</p> <p style="text-align: right;">(単位 人、件)</p> <table border="1" data-bbox="510 951 1431 1179"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施設名</th> <th colspan="3">個人利用</th> <th colspan="2">団体利用</th> <th rowspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>男</th> <th>女</th> <th>計</th> <th>件数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合体育館</td> <td>30,604</td> <td>25,979</td> <td>56,583</td> <td>2,516</td> <td>73,867</td> <td>130,450</td> </tr> <tr> <td>武道館</td> <td>1,656</td> <td>315</td> <td>1,971</td> <td>1,192</td> <td>32,714</td> <td>34,685</td> </tr> <tr> <td>温水プール</td> <td>27,519</td> <td>37,547</td> <td>65,066</td> <td>287</td> <td>5,920</td> <td>70,986</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 軽スポーツセンター</p> <p style="text-align: right;">(単位 人、件)</p> <table border="1" data-bbox="510 1294 1072 1425"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>件数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鈴蘭軽スポーツセンター</td> <td>1,152</td> <td>11,317</td> </tr> <tr> <td>宝来軽スポーツセンター</td> <td>926</td> <td>14,608</td> </tr> </tbody> </table>	施設名	個人利用			団体利用		計	男	女	計	件数	人数	総合体育館	30,604	25,979	56,583	2,516	73,867	130,450	武道館	1,656	315	1,971	1,192	32,714	34,685	温水プール	27,519	37,547	65,066	287	5,920	70,986	施設名	件数	人数	鈴蘭軽スポーツセンター	1,152	11,317	宝来軽スポーツセンター	926	14,608	<p>施設利用は、全体的に前年より微減となっている。気軽に健康づくりやスポーツに取り組むことができる環境は整備されているが、競技志向の高まりから競技場コンディションのグレードアップを望む声も聞かれ、検討課題である。</p>
施設名	個人利用			団体利用		計																																						
	男	女	計	件数	人数																																							
総合体育館	30,604	25,979	56,583	2,516	73,867	130,450																																						
武道館	1,656	315	1,971	1,192	32,714	34,685																																						
温水プール	27,519	37,547	65,066	287	5,920	70,986																																						
施設名	件数	人数																																										
鈴蘭軽スポーツセンター	1,152	11,317																																										
宝来軽スポーツセンター	926	14,608																																										

項 目 主要な施策	成 果	教育委員会の点検・評価																								
	<p>(3) 運動公園等</p> <p style="text-align: right;">(単位 人)</p> <table border="1" data-bbox="510 360 1010 801"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>希望が丘野球場</td> <td>5,533</td> </tr> <tr> <td>テニスコート(木野北ほか)</td> <td>9,444</td> </tr> <tr> <td>ソフトボール場</td> <td>5,735</td> </tr> <tr> <td>柳町河川緑地グラウンド</td> <td>3,167</td> </tr> <tr> <td>木野河川緑地グラウンド</td> <td>8,814</td> </tr> <tr> <td>音幌河川緑地グラウンド</td> <td>353</td> </tr> <tr> <td>パークゴルフ場(4コース) 個人利用</td> <td>110,644</td> </tr> <tr> <td>パークゴルフ場(6コース) 団体利用</td> <td>20,771</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 学校開放事業</p> <p style="text-align: right;">(単位 人)</p> <table border="1" data-bbox="510 919 1393 999"> <thead> <tr> <th>種目指定開放校(11校)</th> <th>地域開放校(10校)</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>72,345</td> <td>21,463</td> <td>93,808</td> </tr> </tbody> </table>	施設名	人数	希望が丘野球場	5,533	テニスコート(木野北ほか)	9,444	ソフトボール場	5,735	柳町河川緑地グラウンド	3,167	木野河川緑地グラウンド	8,814	音幌河川緑地グラウンド	353	パークゴルフ場(4コース) 個人利用	110,644	パークゴルフ場(6コース) 団体利用	20,771	種目指定開放校(11校)	地域開放校(10校)	計	72,345	21,463	93,808	
施設名	人数																									
希望が丘野球場	5,533																									
テニスコート(木野北ほか)	9,444																									
ソフトボール場	5,735																									
柳町河川緑地グラウンド	3,167																									
木野河川緑地グラウンド	8,814																									
音幌河川緑地グラウンド	353																									
パークゴルフ場(4コース) 個人利用	110,644																									
パークゴルフ場(6コース) 団体利用	20,771																									
種目指定開放校(11校)	地域開放校(10校)	計																								
72,345	21,463	93,808																								
5. 指定管理者制度の導入	<p>次の社会体育施設について、指定管理者制度を導入した。</p> <p>(1) 温水プール 平成18年度～</p> <p>(2) 総合体育館・武道館 平成19年度～</p>	<p>両施設とも前年度に比べ利用者数は微減となったが、町が管理していた時に比べ温水プールで約25%、体育館・武道館で約10%増を確保しており、良好な運営状況と認められる。更なるサービスの提供と、事業の充実に期待したい。</p>																								

教育に関する事務の執行の状況の点検及び評価に関する学識経験者の意見

点検及び評価に関する総括的印象

各担当部署においては、音更町教育行政推進方針に基づき、町民の目線に立って施策を立て、適切に業務推進がなされ成果を収めていることを高く評価したい。

次年度以降の点検・評価の手法については、一例として当該年度の重点施策に焦点を合わせ評価項目の重点化・精選化をするなど、改善のための不断のご努力をお願いします。

(1) 教育委員会の活動状況

現状、教育委員会で審議されている案件（議案 39 件、協議案 10 件）は多数あり、それらについて「各委員への議案・資料等の事前説明を行う等、審議がより活発なものになるように」取り組んでおられることを評価する。

教育委員会の会議は月 1 回（臨時会を含め 13 回）と限定されているが、日常的な事務局との意見交換で補われているとある。現状の委員会会議の開催頻度、議案を踏まえると、この「日常的な意見交換」が極めて重要であり、今後、こうした「日常的な意見交換」から出てきた考え等を目に見える形（記録に残る＝評価対象になる）で組織的に汲み取る仕組みの検討を期待したい。

また、今日の教育が抱えている課題の多様性を考えると、教育委員会に期待される役割は大きい。地域における教育行政は、その管轄地域内の 教育を規制・制限し、 指導・助言・支援し、さらには「積極的な教育行政を推進」するために 自ら教育活動を実施することも射程におくべきではないか、と考える。この点も今後検討されることも期待したい。たとえば、今後の地域社会の将来を考えると従来以上に人を育てることが必要になる。それは自分たちの町を愛し、まちづくりに貢献しようとする人である。そうした人づくりは単に掛け声だけで実現できるものではなく、具体的な教育課程（体験を含む郷土学習、協働のまちづくり学習等）を組織的に実践していく必要がある。その教育課程づくりをリードしていく役割を教育委員会に期待したい。

むろん、現在の教育委員会の体制では自ずと限界があるが、町内あるいは十勝管内の関係機関との連携で取り組むことも可能である。

(2)～(6)の項目については「(6) 町民への情報提供の状況」についてのみ記す。現状で可能な情報発信は広報紙、ホームページの利用など行われている。これらの情報発信で課題があるとなれば、増やすことよりも利用者が必要なときに必要な情報にストレスなくアクセスできる仕組み、そしてわかりやすさであろう。他の行政部門における情報発信にも通じるが、行政情報の発信についての受け手にとっての充分性の評価を行うことも町

行政にとっては今後の課題である。また、町長公約にあった地域コミュニティ放送が実現すれば、その活用は大いに期待される。

会議の状況

開催に当たり、議案・資料等を事前に配布し説明することにより、各教育委員が前以て問題の趣旨や内容を理解・検討できるとともに、適切な意見を持って本会議に臨むことができる利点がある。そのことが委員会議の活性化につながり、ひいては音更町教育の振興に寄与することになっている。また、会議題・内容も時代の要請や時宜を得たものであり、適切である。

町民への情報提供

音更町の教育の振興を図る上で情報提供は欠かせない。今後も町民の教育への関心を喚起し一層の理解を図るためにも、より分かりやすく広く情報提供が可能となる方策を考えて欲しい。併せて、常に住民のニーズや情報を受け入れる方法についても検討することが必要であると思う。

(2) 教育行政推進における主要な施策の実施状況

(ア) 文教対策

限られた予算のなかで16項目にわたって総合的によく取り組まれている。以下ではそのなかでいくつかの項目について期待するところを記す。

まず、「総合的な学習の時間の支援事業」についてだが、現状、各学校、各教諭の創意工夫でさまざまな分野にわたる総合学習が展開されている。これは個々の学校、教諭のやりがいであり、教育機関、教諭としての矜持にかかわるところであるが、一方で、業務多忙の中で負担になっている部分でもあると推察される。前項で指摘した全町的に統一した教育課程による「郷土学習」をこの枠組みで実践することも検討の価値があると思う。

「いじめ等の対策」については、現在、情報収集、実態把握に取り組んでいるところである。この問題は極めてセンシティブで対応が難しいので、実態把握への取り組みと事実確認に慎重に取り組む現在の姿勢は大切である。その上でさらに期待したいところは、いじめの実態把握のためにも当事者（現役生徒・児童）へのアンケートでの事実確認に加えて、直近当事者である卒業生への聞き取りの実施もその対処方法を考える上で重要であると思う。さらに、「学校裏サイト」や「ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)」というネットコミュニティの実態把握と対処法の研究への早急な着手を期待したい。

「情報教育」については出来るだけ早く、1台/人という教育環境を整えていただきたい。また、小学校教員についても1台/人という環境整備、あるいは個人所有機器の利用環境の整備と、情報及びシステムのセキュリティ環境を整備し、システム及び人的事故のない体制を築いていただきたい。また、蛇足ではあるが、タイピングについては一度身についた手法をその後修正することは難しいことを考えると、初習段階で「タッチタイピング」の習得を原則としていただきたい。

「食教育」では、十勝管内唯一の自校給食は今後とも是非維持していただきたい。自校給食は食育を展開していく上で良い環境である。また、食教育充実のためにそれぞれの学校で独自に取り組むと同時に生産・流通・消費・廃棄に関わる関係機関の協力・連携でのさらなる展開を期待したい。

教職員研修

学校教育の成否は、教職員の資質にかかっている。そのため、教育委員会としては一層の研修の充実を図る必要がある。

本町では厳しい財政状況の中にありながら、研修の充実のために、必要な費用等を積極的に助成しており、研修の奨励や資質の向上を努めてきたことは評価できる。

財政的な面も考慮しなければならないが、今後可能であれば全国的な研修参加に対する補助を期待する。

教員住宅の整備

地域に根ざした教育を進める上で、教職員がその地域に住み、保護者・住民と一体となって子どもの教育に当たることが重要であることは言うまでもない。そのためには、教職員ができるだけ快適な環境が不可欠である。給湯器の設置やトイレの洋式化など、一層の改善や整備に努力を要する。

開かれた学校づくり

平成19年度から小規模特認校制度が導入され2年が経過した。この間、関係者の熱心な努力により、導入の趣旨・目的に沿って推進され、大きな成果を収めた。

今後は、これまでの経過の中で惹起している課題等について整理し、その解決に取り組む必要があると思う。とりわけ、応募者が少ない原因の一つに制度に対する理解不足という側面も考えられるので、実効が上がるPR方法に一考を要する。

いじめ等の対策

各学校が町単費採用の適応指導教室指導者や心の教室相談員と連携を図り、いじめや不登校に適切に対応し成果を上げている。

今後、学校においては「いじめはどこでも起こり得るが、決して許されるものではない」

との認識に立ち、全教職員が一丸になって取り組む機能的な学校体制の再構築を図り、未然防止、早期発見・早期対応等を組織的に迅速に行うこと。併せて、保護者、地域関係諸団体との連携のあり方を含めて、地域ぐるみ・町ぐるみで子どもを育てる気運を醸成する事が重要である。教育委員会が中核となって進める施策が必要と思う。

児童生徒の安全確保

AEDについては、これまで全中学校に配置されたが、今後全小学校はもとより、子どもたちが活動する公共施設・場所等への配置を考えるべきである。

(イ) 社会教育の振興

8項目にわたりよく取り組まれている。以下、いくつか個別項目について期待するところを記す。

「青少年教育事業」についてはさまざまな機関・組織との調整・役割分担を適切に行って、行政がやるべきこと、行政にしかできないことに取り組むようお願いしたい。

「青少年対策」については大変かつ大切な業務によく取り組まれていることを踏まえた上で、更なる期待として、「いじめ対策」でも指摘したが、問題の本質に迫るためにも青少年センター運営委員会の委員に限りなく当事者に近い年齢の委員枠を設けることなども検討に値することだと考える。

「成人教育事業」から「図書・視聴覚の振興」についてはその参加・利用状況等良い成果をあげている。その理由を推察するに、企画担当者等の努力はもちろんのことだが、対象者である中高齢者の主体的参加姿勢をあげることができる。反面、教育委員会の点検・評価の「図書・視聴覚の振興」に「中・高校生の利用が少ない」とあるように若年者の社会参加が不足しているように感じられる。中高齢者の持つ自主的学習・参加の姿勢を学校教育、社会教育、生涯学習セクションが連携して、若年世代に醸成することが今後の課題である。

本を読むということは人間形成上極めて重要である。「図書・視聴覚の振興」では本や図書館に興味を持ってもらうために多くの事業を展開しており、評価できる。また、蔵書冊数の目標にできるだけ早く到達するとあるが、冊数目標の到達は第一義ではなく、増冊ペースは遅くとも、良い本をきちんと揃えていくことが大切であることを忘れてはいけない。何が良い本かは難しいが、その根幹には音更町図書館がどのような図書館を目指しているのかという理念があるはずであり、常にそこに立ち返った選書をしていくべきかと考える。

青少年教育事業

「生きる力」を育む上で、体験活動は不可欠である。子どもは、様々な体験を通して豊

かな情操を育むとともに、学習したことを経験則として蓄え知恵として働かせる能力を身につけるのであり、子どもの成長に多大な好影響を与えることは明白である。

そのような意味合いから、これまで町として継続してきた「こども姉妹町視察研修事業」は、子どもの成長にとって大きな糧になった。

しかし、時代の変遷と共に継続の障害となる問題も起きてくるので、今後さらなる充実を図りながら継続するためにも、軽米町と十分協議し、無理なくスムーズに事業推進に当たることが大切である。

成人育成事業

幼児家庭教育学級や女性ライフスクールの参加者が意外と少ないのではないか。社会の急激な変化とともに町民（女性）のニーズも多様化している。原因等を分析・考察し、有効な対策を考えるべきである。

図書・視聴覚の振興

利用状況が前年度を上回ったことは高く評価できる。また、中・高校生の利用増を図るために、「ティーンズコーナー」を設置するなど読書普及に熱心に取り組んでいる。今後も学校や家庭との連携のあり方の模索なども含めて取組を強化して欲しい。

(ウ) 社会体育の振興

記載されている 5 項目にある各プログラムへの参加状況、施設の利用状況を見ると町民の方の運動、健康に対する意識の高さが推察される。財政的制約はあるが、教育行政としてはこれからも町民の方の要望に応えるハード、ソフト両面からの環境整備が期待される。特に「体力づくり、健康づくりの振興」における事業（各種プログラム）については、広報の工夫によってさらに参加者を増やせるものもあるのではないだろうか。

指定管理者制度の導入についてはサービスの向上と利用者数の増加、結果としてのコストパフォーマンスの向上が図られており、評価できるが、就労者の雇用環境への配慮も忘れてはならないことを指摘しておく。

体力づくり・健康づくりの振興

体力づくり・健康の維持増進のためのメニューが豊富なせいか、参加者数が多いことは大変喜ばしい。このことは、指定管理者制度の導入効果も大きいと考えられる。

今後も、町民のニーズをしっかりと受け止め、その実現に向けて真摯な努力が求められる。